西東京市市民協働推進センター

平成30年度第10回運営委員会会議録（確定稿）

■開催日時：平成31年2月19日(火)午後7時00分～9時00分
■開催場所：イングビル3階第3、4会議室
■出席委員：海老澤委員、古林委員、櫻井委員、佐藤(文)委員、鈴木委員＜以上5名、五十音順＞
■事務局　：小松センター長、鈴木副センター長、妻屋福祉活動推進課長、山田地域福祉推進課係長

今回運営委員の出席が過半数に達しない為運営委員会は成立せず。

1.報　告　事　項

1.業務報告について

事務局より、1月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談の状況について説明があった。

委員長：まほろばのちずが注目を集めているようだが、どのような活動か。
事務局：終活だ。
委　員：市内の保育園からのプロジェクターの問い合わせはどういう経緯でゆめこらぼにきたのか。
事務局：おそらくホームページで機材の貸出を検索してゆめこらぼに問い合わせてきたと思う。
事務局：保護者会で使用したいとの事だ。

2. 2月以降の事業について

事務局より、2月以降の実施事業について説明があった。

委員長：中部地域協力ネットワークはゆめこらぼの主催事業か。
事務局：協働コミュニティ課が市の施策として進めているもので、警察や消防と同じ並びで参加している。
委員長：今後はどのように展開していくのか。
事務局：中部は市内の中央だが地域差があり、課題は多い。ひばりタワーも田無も中部地域である。また、中部の圏域はいろいろなお祭りがあり、文化の発信や交通の問題もある。
委　員：中部は駅が3か所あり意見がまとまるのか懸念されるが、枠を超えて意見を出し合う事は今後必要になると思う。
委員長：いつまでモデル会議をするのか。
事務局：年4回のモデル会議を経て、平成32年の2月に総会を開催し独立したスタートをする予定だ。

3. センターの業務の執行に関する事項（重点事業の実施結果）について

事務局より、第10回NPO市民フェスティバルの実施結果について（アンケート結果）について説明があった。

委員長：アスタの人通りが少なかったと感じている。音の問題とかで苦情はあったのか。
事務局：今回苦情は無かった。
委員長：次年度はアスタで開催するのは難しいのか。

事務局：アスタの事業計画がいつできるのか分からないが、大型イベントを受ける可能性は低くなると言われている。1月の開催だと6月には実行委員会を立ち上げなくてはならないので、場所も5月までには決定しなくてはならない。どこか場所の提案はないか。
副委員長：イングビルでの開催も考えられるのではないか。
事務局：平日か土日開催になるのか。
副委員長：市民活動団体の方は平日仕事をしている方が多いので土日が良いのではないか。
委員長：クリアにしなければならない条件もあると思うので、イングビルでの開催を検討して欲しい。

2. 審　議　事　項

1. 前回、前々回の会議録について

2. 来年度の事業計画及び予算について

委員長：審議事項については本会議において運営委員の出席が定数に満たないため次回の運営委員会で審議する。

協　議　事　項

1. 来年度の事業計画及び予算について

事務局より平成31年度西東京市市民協働推進センター活動計画（案）について説明があった。

委　員：活動計画に伴う事業計画の係の方針でSDGsや休眠預金等の活動の施行とはどういうことか。
事務局：SDGsは3月に講座を開催する予定だ。目標値に対して自分達の市民活動が結び付いているという事を意識して展開していきたい。休眠預金に関しては70億円が動き出している。東京都エリアにどの程度のお金が分配されるか分からないが、助成金などで取得する方法等相談があれば回答できるよう準備しながら、情報を発信していきたい。

2.自主企画委員会（やってみ隊）について

事務局より平成30年度第2回開催の報告と今後について説明があった。

委員長：交流会で説明をしてどうだったか反応を聞かせて欲しい。
副委員長：参加した人がやってみ隊について知らない人が多かったので説明することができて良かった。団体の共通の悩みは話し合いのテーマになると思う。
委員長：ネットワークを作ることは否定的ではないが、一緒に何か特定なものを皆で作るという事には否定的だと感じた。
副委員長：自分達の団体を回すので手一杯で時間がないのだと思う。メリットが無いとなかなか難しい。
事務局：次年度は7月に交流会を予定しているので、その時に取り入れるのはどうか。
副委員長：そこでカテゴリー別のグループにすることも考えられる。活動内容が具体的になれば参加してもよいという人も出てくると思う。

委員長：当初は共通の困りごとに対して分野を超えて講座等を考えるはずだった。こういうことを“やってみ隊”が一緒にやろうという事が成り立つかどうかだ。

委　員：現状では“やってみ隊”が自分のやってみ隊であり、みんなでやってみ隊ではない。企画提案になっているように思う。

委　員：何のために“やってみ隊”とすれば絞り込めるのか。例えば環境のためにやってみ隊などだ。

事務局：団体交流会の場を利用するのであれば、どんな見せ方が考えられるか。

副委員長：登録団体の分野ではなく自分の気になるテーマのテーブルに着くなどの方法もある。

委　員：人・物(場所)・金(資金)は定番のテーマだ。

事務局：それをもとに考えてみる。“やってみ隊”を今後も続けていく事は決定でよいか。

委員長：今の流れは最初に想定したものと違うので、修正は必要だ。ネットワークを構築していく過程で分野が分かれるのは良いと思う。

事務局：12 月 8 日に参加いただいた方にはフィードバックしたいので、次回の運営委員会で案を提示する。

3. 2019（平成 31 年）度実施予定市民協働推進センター受託について

事務局よりタイムスケジュールについて説明があった。

委員長：アンケートは 4 月の運営委員会には集約されて共有できるということか。

事務局：その予定だ。

委　員：アンケートの自由記入欄だが、チェックを入れた根拠を示す必要はあるのか。

事務局：チェックは必須だが、根拠は記入してもらえればありがたい。

委　員：対象は前運営委員も入るのか。

事務局：現運営委員 11 名にお願いする。

4. そ　の　他

1. 次回運営委員会日程について

日時：3 月 19 日（火）19 時～21 時

会場：イングビル 3 階　第 3, 4 会議室